

## 「平成25年度 看護師研修会」 報告書

- 【期 日】 平成25年 8月22日 (木)
- 【会場】 グランデ はがくれ
- 【主催】 佐賀県保育会
- 【参加者数】 92名
- 【内容】 研修会1 『基調報告』講師 田中 豊博 (佐賀県保育会会長)  
研修会2 『乳幼児の救急と感染対策』  
研修会3 『保育士専門職としての基盤』  
講師 橋本 武夫氏 (聖マリア学院大学大学院  
周産、母子領域教授)

### 研修1報告 『基調報告』講師 田中 豊博氏

保育制度について

- ・子ども子育て支援新制度の課題
- ・保育園での看護師職の重要性

### 研修2報告 『乳幼児の救急』橋本武夫氏

感染症については各園対応が定まっていないので講義なし

→ 統一した対策がないことが今後の課題



## ①乳幼児の安全環境と救急への対応

- ・園における突発的異常の危険性  
(保育士・看護師に必要な知識)
  - 誤飲 — 4~5センチ以下はすべて口から侵入
  - 誤嚥 — 何よりも気道閉鎖が危険
  - 溺水 — 風呂の半溜まりが最も多く危険
  - 火傷 — 水道水で冷やす。

### 防ぐには

- ・環境整備で予防。(食物は小さくする。身近に危険物をおかないなど)
- ・予想外を想定しておく。
- ・慌てずに対応できるように知識をもつ。
- ・処置のし方を再確認する。
- ・毒物誤飲治療の原則と方法
  - ・種類は？
  - ・時間 (飲んでから…)
  - ・症状
  - ・応急処置は何をしたか？を伝える

**熱** 熱中症、不明熱 見逃されやすい発熱 (環境温・急性中耳炎・尿路感染症・ストレスなど)

熱が出て → 良 免疫力食細胞の働きを高め生体の防衛作用が亢進する。  
                  ↓ 悪 体力消耗

**けいれん** 熱性か、てんかんの判別が重要

**下痢** 原因 … 何が原因で下痢をしているのか把握する。

**腹痛** 急性腹症を鑑別すること … 6ヶ月~1才に多い腸重積の見かた。

## ②専門職としての基盤

- ・保育の現場では看護師は貴重な存在である。
- ・どう力を発揮できるかが問題
- ・看護師として保育園に入ったのだからまず保育の事を勉強してほしい。

・育児の方の勉強をしてそして専門職同志融合してほしい。

・ **こどもにまつわる社会問題の急増**

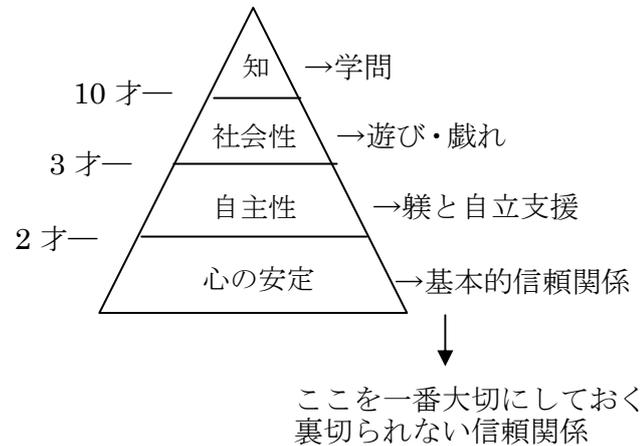
いじめ・自殺・虐待・犯罪・心身症の増加

・ **愛着形成不全**

・ 愛着とは人と人との絆を結ぶ能力で子どもと養育者との日々のやりとりの中で形成される。

・ 乳児期は甘えの感情を満たしてやる。

1. 子どもが抱かれていない。
2. 子どもが遊べていない。
3. 父親（家主）がうすくなった。
4. 先生との響音が衰退している。



**神生児覚醒 — 早期母子接触**

- ・ 母の体にプロラクチン→ 愛情ホルモン
- ・ 赤ちゃん カテコラミン→ 五感を敏感にする。

生後2時間以内→ この時こそ抱き合う。生後1時間以内に母親の乳首に吸いつく。  
お母さんのフェロモンが出てくる。

- ・ (バースカンガルーケア) → 生理学的・情緒安定・体重増加  
やさしくなでる、手を置く。

離乳ではなく卒乳（赤ちゃんの方から離れていくまで待つ）

**効果及び評価**

- ・ 専門知識を子どもの心身の健全な成育の中に生かして、親と子又、人と人が愛着形成を十分に構築できるよう支援をしていく。
- ・ 1億分の1として選ばれた命の大切さを知らせていく。
- ・ 育児相談できる人の存在が必要。

## まとめ

- ・乳児期は甘えの感性を十分満たしてやる。
- ・タッチケアで子に育つ力、母親に育てる力を与える。(母性が芽生える)
- ・心をこめて、触れ合うとお互い安心感・満足感・幸せ感を感じている。
- ・何よりも家族仲良く夫婦仲良く
- ・愛着形成は乳児期につける。
- ・育児は家庭が基本、そこを支えサポートするのが私達の仕事。
- ・HAGは百葉の長なり。

(文責：芦刈保育園 松永奈緒子)

愛しあうものと きずなは結ぶ  
にくしみあうものと きずなは結ぶ  
見知らぬ者同志すら きずなは結ぶ  
一人では生きていけない私達の命きずな  
— 谷川俊太郎 —

25年看護師研修会にて

